

議会ブログはこちら▶



7/9 村消防訓練大会

4年ぶり
全競技開催
される!!

- 6月定例会議… 2 分
- 一般質問…………… 4 分
- 委員会活動…………… 10 分

6月定例会議



改選後の初会議となった6月定例会議は、6月1日から6月16日までの16日間の審議期間で開催されました。

報告7件、人事案8件、条例案2件、契約案1件、予算案1件の合計19件を審議。陳情1件を採択として、議員発議の意見書1件と議員派遣を含むすべての議案を、全会一致で原案のとおり可決しました。

2日目には一般質問が行われ、3議員が登壇し村政を質しました。

人事

○農業委員会委員の任命

高谷 聡子

(岩井川字沼又)

※新任

谷藤 勝也

(岩井川字合居)

※再任

高橋 祐子

(椿川字堤)

※再任

佐藤 龍太郎

(田子内字平良)

※新任

佐々木 喜久藏

(岩井川字野頭)

※再任

半田 大治

(椿川字下村)

※再任

菅原 守

(椿川字新屋布)

※再任

高橋 広美

(岩井川字東村)

※新任

任期：令和5年7月20日から

令和8年7月19日まで

6月定例会議



現在のマイクロバス

○マイクロバス購入

契約額 1250万1500円
 契約方法 条件付き一般競争入札
 相手方 太平興業株式会社 横手支店
 納期限 契約日の翌日から起算して
 150日

契約

◆制定

○いじめ問題対策連絡協議会条例

・いじめ防止基本方針に基づくいじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの適切な対処を図るため、関係する機関等と連携し、いじめ問題対策連絡協議会を設置する必要があるため、条例を制定するもの。

条例

◆改正

○定住住宅条例の一部を改正する条例

・寄附の申出があった住宅を村の定住住宅として活用するため、改正するもの。

現在村に整備されている住宅

【二階野村営住宅（公営住宅）】

- ・実施年度 平成13年度～平成17年度
- ・整備戸数 18戸

【若者定住促進住宅】

- ・実施年度 平成29年度～平成30年度
- ・整備戸数 10戸

【空き家を活用した住宅】

- ・実施年度 平成27年度～令和2年度
- ・整備戸数 6戸

【移住定住住宅】

- ・実施年度 令和4年度
- ・整備戸数 10戸
- ・その他 民間事業者との賃貸借契約

【定住住宅】

- ・実施年度 令和2年度～
- ・整備戸数 2戸

高橋 清一 議員



山菜の仕分け販売のシステムづくりを

村長 ある程度実施はされている



質問 高齢化が進む中、技術の継承も兼ねて山菜の仕分け販売のシステムを村主導で作れないか。また、高齢者の生きがいや収入確保にもつながるので積極的に検討すべきと考えるが。

村長 村に2直売所もあり、ある程度実施はされている。高齢化による技術の伝承と協力的体制整備は、検討すべきと思う。道の駅の

ような施設についても将来的には検討すべきと考えている。また、春秋のイベントでこれを生かした体制作りも検討していきたい。

質問 食肉加工施設の山菜加工施設への転用の検討は。

村長 施設の改修が必要で、過疎債を借入して造った施設で利用にも制限がある。改修にも色々な問題があり、それらをクリアしなければならぬことが課題としてある。

な問題があり、それらをクリアしなければならぬことが課題としてある。

村林道の維持管理に年間契約を

村長 多額の経費が掛かり現状では厳しい

質問 倒木などがあり雪消えと同時に開通が出来ない村林道がある。年間維持管理契約をして、即開通出来るような体制整備を望むが考えを聞く。

村長 年間の維持管理に多額の費用を要し、村の財政状況を考えると現状では厳しい。今後も維持管理については、現状維持と考えている。

質問 集落で村林道の刈払い協力はしているが、高齢化・人口減少で難しくなっており刈払い車両の導入の検討をすべきと考える。

村長 民間事業者を圧迫することがないよう、総合的に行政で判断し必要であれば検討していく。





杉山 彰 議員

発電所計画は景観損ねる懸念

村長 声を集約し判断



質問 栗駒山荘周辺での地熱発電所計画は生態系への影響や景観を損ねる懸念がある。たとえ再エネでも村の重要な観光施設周辺での開発には異議を唱えるべきではないか。

村長 現段階では判断のため情報量が不足している。山荘の直下はちよつと無理と思うが、幅広く村民や議会の声を集約して判断したい。動向を見守っていく。

質問 蔵王の風力発電計画では首長たちが「景観を壊す」と反対を表明した。村長の理念・哲学が大きな影響を持つ。「日本で最も美しい村」連合加盟村にふさわしい対応を。

村長 世界の趨勢である再エネを否定することはできないし、一定の経済効果もあるだろう。しかし自然景観は村の「売り」であるし、建設場所次第では反対せざるを得ないというのが私の一貫した考えだ。

村のビジョンを共有し発信を

村長 建設的な提案

質問 インターネットに精通した地域おこし協力隊員を多数擁する本村は大きなネット発信力を秘めている。従来の発信に加え、村としての明確なビジョンを持つた発信をするための戦略チームを作るのはいかがか。

村長 建設的な提案だ。行政と議会は常時議論が可能だしタウンミーティングの活用もありうる。私が主催して意見を聞く集まりを開くことも考えられる。

質問 隊員たちの「どう動いていいかわからない」との声もあった。「めざしたい村」のビジョンの共有が不十分では。

村長 ビジョン作り・情報政策に向けた声の集約が大切。先進地との情報交換も必要。もう少し時間を。



伊勢谷 勝 美 議員



民家周辺に獣が！急ぎ対策を！

村長 捕獲奨励金を新設



質問 民家周辺で、以前は見られなかった獣が見受けられる状態となっている。狩猟免許取得経費の全額支援等今までの以上の対策を取るべきでは。

村長 狩猟後継者の育成として狩猟免許を習得する場合、村と県が補助金を出しており、本人負担は無い。また今年度から、村で有害鳥獣捕獲奨励金を新設しており、一頭に付き一万円を交付する。さらに罠の研修会を企画した場合の補助金の創設など、積極的に力を入れたいと考えている。

活躍の周知は

質問 地域おこし協力隊の活躍をもっと知ってもらう為に、紙ベースで特集を組んではどうか。

村長 村広報に特設ページを掲載している。産業祭においても協力隊コーナーを設置して活動をPRしている。またなるテック所属の隊員については、成果報告会等を開催しており、5月30日の報告会では、住民との座談会を企画するなど前進していることを認識している。

人手不足解消は

質問 ホテルプランの人手不足解消の具体策は。また、通常営業に向けた進捗状況と来年度もダム関係者に貸出しを予定しているか。

村長 深刻な人手不足でいろいろな方面から具体策を検討している。少ない人員で工夫しながら経営努力し、職員の意識改革を図り

たい。また、来年度以降の貸出しは未定。



協力隊も参加 無農薬・無肥料栽培の講習

厳しくチェック!

村民の課題解決につながる予算か

令和4年度一般会計補正
予算（第8号）

法人民税の減額

質問 主な減額理由は。

答弁 村のダムでの事業以外のその他地域での収益が例年に比べ思わしくなく、下方修正があり、法人税自体が下がった。

带状疱疹予防接種事業

質問 昨年までコロナの予防接種もあり、受けたくてもなかなか受けづらいという声もあった。今年はどうか。

答弁 昨年度はコロナの予防接種もあり、十分に周知出来なかった。今年はコロナワクチンの春の接種が7月上旬で一段落するため、7月号の広報で再度周知していきたいと考えている。



令和5年度一般会計補正
予算（第3号）

地域おこし協力隊事業

質問 人員は増となっているが、旅費及び需用費は減額している。理由は。

答弁 協力隊1人につき、国から480万円の特別交付税が交付される。その経費の中で、研修の希望があれば旅費が増額となり、それ以外も、組替で補正になる。

地域活性化起業人事業

質問 首都圏の企業から社員への派遣を受け、村の事業の企画・発案をするということだが、どのようなことを行っているのか。

答弁 現在、1名はホームペー

ジの作成支援を、もう1名は事業所経営マッチングサービスというシステムの設計等を行っている。
今回の補正はITの専門家を派遣で一名増になる。国が進めるデジタル田園都市構想総合戦略のDX化推進において、村で立ち上げた若手職員プロ

ジェクトチームの支援を行う。

質問 地域活性化起業人事業にて作成した新たなホームページが、使いにくい、見にくい、今まであったものを探せないといった意見もある。どのようなコンセプトでリニューアルしたのか。

答弁 なるべくシンプルなものにすることが一番のコンセプトであり、スマートフォン対応できるもの。なるべくスクロールしなくても良いような画面構成となっているものをコンセプトにしている。

その中で課題となっているのが、階層が深いことであるため、減らす作業をしている。

地域活性化推進事業

質問 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成を支援する事業ということで、観光物産協会に委託する事業とのことだが、経済波及効果はどれくらいを見込んでいるのか。

答弁 実際に人を呼んで観光させるといった事業ではなく、インバウンドの誘客のための

コンテンツを作成する事業である。経済波及効果は、見込んでいない。



6月定例会議議決事項一覧

専 決 処 分	村税条例等の一部を改正する条例
	国保税条例の一部を改正する条例
	令和4年度一般会計補正予算(第8号)
	令和4年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)
	令和4年度国保特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第5号)
	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
繰越明許費繰越計算書について	
農業委員会委員の任命について(谷藤 勝也)	
農業委員会委員の任命について(高橋 祐子)	
農業委員会委員の任命について(高谷 聡子)	
農業委員会委員の任命について(佐々木 喜久藏)	
農業委員会委員の任命について(半田 大治)	
農業委員会委員の任命について(佐藤 龍太郎)	
農業委員会委員の任命について(菅原 守)	
農業委員会委員の任命について(高橋 広美)	
定住住宅条例の一部を改正する条例について	
いじめ問題対策連絡協議会条例について	
令和5年度一般会計補正予算(第3号)	
物品供給売買契約の締結について	
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	
議員の派遣について	

請願・陳情

6月定例会議で1件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
(陳情者) 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 齊藤 斉

令和5年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳入	
○地方交付税	
特別交付税増 (地域活性化起業人事業・地域おこし協力隊 事業経費分)	2020万円
○国庫支出金	
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援増	3019万円
道路メンテナンス事業費補助金増	778万円
○県支出金	
県営発電所周辺地域等振興事業助成金増	500万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	600万円
さわやかなるせ仙人の郷基金繰入金増	400万円
森林環境譲与税基金繰入金増	500万円
○諸収入	
光ケーブル破損修理代増	133万円
○村債	
過疎対策事業債増(ハード事業分)	420万円

歳出	
○総務費	
地域おこし協力隊事業増	1668万円
地域活性化起業人交流事業負担金増	420万円
本工事費増 (光ケーブル本復旧工事・狐狼化スノーシェッ ド延伸工事に伴う支障移転工事)	233万円
住民税非課税世帯への臨時特別給付金増	960万円
応援クーポン券事業費増	2505万円
○民生費	
子育て世帯生活支援特別給付金増	71万円
○農林水産業費	
道路脇等危険樹木被害防止伐採委託料増	500万円
○商工費	
観光費増(インバウンド等観光誘客促進事業)	400万円
○土木費	
道路メンテナンス事業費増(村中橋支障物件補償費)	1160万円
○教育費	
いじめ問題対策連絡協議会委員報酬増	6万円
保健体育施設費増 (村民体育館周辺LED蓄電池交換・多目的 グラウンド街灯修繕・中学校野球場カウン トボード購入)	243万円

傍聴しませんか？

会議はどなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせください。

次回定例会議は

9月上旬開会の予定！



議会の動き



付替国道が開通！

― 国道342号全線開通式 ―

4月29日、成瀬ダム付替国道342号の全線開通式が執り行われました。

成瀬ダム完成後に水没する区間の、国道付替道路が完成し開通しました。夢仙人トンネルを抜け夢仙人大橋を渡ると、正面に新しく開通した「狐狼化山トンネル」があり、トンネルを抜けると「赤滝大橋」と続き、これまでの道路と合流します。

開通式には、当議会議員も含む、約80人の関係者が参列しました。

4年ぶりに議員も参列！

― 戦傷病没者追悼式 ―

5月11日、戦傷病没者追悼式が執り行われ、当議会議員も参列しました。

今までコロナ禍のため規模を縮小して開催されていた追悼式ですが、4年ぶりに通常開催となりました。

議長が追悼のことばを捧げ、献花を行いました。



新たに議会活性化

協議会を設置

6月16日、本会議終了後、議会組織活性化に向けた活動方針の一つとして、「議会活性化協議会」を開催しました。

「議会活性化協議会」は任意の会で、議員間での意思疎通、意見交換の場になる会です。今後の議会組織活動、運営に活かされます。

第1回の協議会では、議会の調査活動の強化の必要性が取り上げられ、当面の課題として、今回の予算特別委員会でも議論となった、村のホームページのリニューアルに伴う疑問点についての調査に全力を挙げていくことが確認されました。

調査活動の進捗につれ、「議会だより」等を通じて皆さんにご報告していきます。

6月26日、常任委員会合同で、各地区から提出された新規要望事項について、現地を視察し、地区の代表者から要望事項の内容や現状について説明を受けました。調査には、副村長、担当課長も同行しており、現地調査終了後に講評を行いました。



平良地区（引込電柱及び外灯の移設）



滝ノ沢地区（村道沿い落石防止）



田子内地区（村道改修）



田子内地区（用水路蓋設置）



功績を讃えて

秋田県町村議会議長会会長を務められた富田義行前議長に、全国町村議会議長会から尽力を讃える感謝状が届き、現議長から伝達されました。

富田前議長は、全国豪雪地帯町村議会議長会の副会長も務められました。

常任委員会合同 村内視察

～皆さんの要望箇所を見てきました!～



椿台地区 (路面表示の鮮明化)



手倉地区 (西堰ポンプ用水場取水施設改修)



岩井川地区 (遠藤堰土砂吐の設置)



岩井川地区 (道路拡幅)

暫時
さんじ
休憩
きゆうけい

▼緊張の連続だった初の6月定例会議を終え、ようやく平常心が戻ってきたところ。

▼東中野球部の応援に初めて行った、吹奏楽部の我が息子。トランペットを吹き、声を囂らして帰宅し、「めっちゃ燃えた!」と。

「コロナの影響でめっきり減った青春がたぎる瞬間」をもっと若者に取り戻してやりたくなる。

▼議員は一人ひとりが対等で独立した存在であるが、「議会」というチームとしても更に成長しなければならないと感じる。

チームワークは日本人の得意とするところ。みんなで知恵と力を出し合えば、東成瀬はもっと素晴らしい村になっていく余地が充分にある。

(委員長・杉山

彰)

おすすめスポットはどこ?

答え: 天空のジュネス栗駒パークゴルフ場。夏の暑い日は、涼みに行くのも良いですよ!

夢に向かって羽ばたけ!



No.10



なるせっ子

高校生にインタビュー



とうま
土谷 橙真さん(肴沢)
増田高校3年生
趣味: 寝ること、バスケット

あなたにとって、東成瀬村といえば?

自然が豊かで人が優しいと思います。
不便に感じることもありますが、静かで落ちつく、自分にとって大事な場所です。

将来、どんな仕事を目指していますか?どんな大人になりたいですか?

将来のことは、まだはっきり決めていませんが、今、習っていることを生かせるような仕事に就ければと考えています。

友だち・家族へメッセージを!

友達へ…これから進学、就職と忙しくなるけど、お互い頑張りよう!
家族へ…いつも急に送迎を頼んですみません。
これからもよろしく!



今号の
ベスト
shot

おすすめスポット ここはどこ?

今回は・・・
佐々木悦男議員の
おすすめ
スポット!

さて、ここはどこでしょう?
ヒントは道具を使って
スポーツが楽しめます!
(答えは11ページ)



短冊に願いを込めて



東成瀬村

議会だより

令和5年7月20日発行

No.214

■発行 東成瀬村議会
■編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
TEL 0182 (47) 3411 FAX 0182 (47) 3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp
印刷/有限会社雄物川印刷